

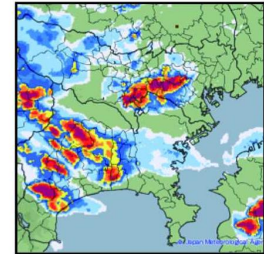
第100回

# 押し寄せる土砂災害

## 勧告頼らず 避難判断を

広島市の土砂災害では、月二十日午前二時すぎ、八時二十分、雨が降り、土砂災害警戒区域に指定された。市が最初に安佐北区で避難勧告を出したのは午前四時十五分。市の判断が早かったと批判されている。た、七月の長野県木曾町の土石災害でも、町が避難勧告を出したのは災害発生後の十分後。避難勧告だけに頼らず、自分で危険を判断する必要がある。

広島と広島地方気象台は午前一時すぎに「土砂災害警戒情報」を発表。内閣府の指針でも広島市の水防計画でも「土砂災害警戒情報」が出れば、避難勧告を検討するようになっている。ただ、急激な発達した雨の降りを予測できなかった。安佐北区では、恐怖を感ずるような大雨にあたる。広島市も住民に何も呼びかけなかったわけではな



状の積雪が何層も市北部を通過。午前二時台で市北部の時間雨量は「た、くなくとも予想以上に、市全域でどう対応するかは、うろたえていたと説明する。広島市も住民に何も呼びかけなかったわけではな

市危機管理部の担当者は、午前一時すぎの土砂災害警戒情報を受け、五千人の市民が警戒情報を一斉に受け、市内八十カ所の屋外スピーカーからラウンズした。だが、住民からは「眠っていてメールに気が付かなかった」「大雨でスピーカーの音が耳に入らなかった」という声を多く聞いた。

避難勧告がなくても、土砂災害警戒情報を受け、自分で危険を判断する必要がある。

## 広島・安佐南

最も被害が集中した五十人、以上の犠牲となった広島市安佐南地区は、住宅密集地である。土砂災害警戒区域に指定された。市が最初に安佐南区で避難勧告を出したのは午前四時十五分。市の判断が早かったと批判されている。た、七月の長野県木曾町の土石災害でも、町が避難勧告を出したのは災害発生後の十分後。避難勧告だけに頼らず、自分で危険を判断する必要がある。

土石流が流出した範囲。安佐南地区の地図に、土砂災害警戒区域が示されている。警戒区域は、山間部や急傾斜地などに設定されている。土砂災害警戒情報を受け、自分で危険を判断する必要がある。

土砂災害警戒情報を受け、自分で危険を判断する必要がある。

74人が死亡・行方不明となった広島市北部の土砂災害は、避難勧告は必ずしも適切なタイミングで出されず、危険を呼びかける情報も確実に住民に届かないことをあらためて



住宅街に流れ込んだ土石流—8月20日、広島市安佐南地区で



防炎無縁の受電機室にしな、自宅に土砂を吹き飛ばした。土砂災害警戒情報を受け、自分で危険を判断する必要がある。



- 1 吉村伸幸さん ガレージへ避難
- 2 土石流を受けて1人死亡
- 3 アパート「ルナハイツ」 4世帯8人が入居。土石流が直撃し、8人全員が死亡
- 4 岡原忠雄さん 2階に避難して一夜を過ごす
- 5 前河内京子さん 家屋が流されるも2階から脱出
- 6 原田義明さん 家屋が倒壊するも、谷間の部屋にいて助かる。妻は山間に死亡

# もっと早く逃げれば

防炎無縁の受電機室にしな、自宅に土砂を吹き飛ばした。土砂災害警戒情報を受け、自分で危険を判断する必要がある。